東北地方太平洋沖地震で被災された皆様に
心よりお見舞い申し上げます

３月１１日午後２時４６分に発生した東北地方太平洋沖地震（マグニチュード９．０、震度６～７）は、観測史上最大規模のものでした。また、この地震直後に発生した東北太平洋沖の大津波、東京電力福島第１原子力発電所の事故による放射能漏れなど、未曾有の激甚災害となっております。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

神奈川県も震度５強という地震に襲われ、４人の方の死亡が報じられました。心よりお悔やみ申し上げます。また、地震直後には鉄道交通網をはじめとする交通機関、電話やメールなどの連絡網が麻痺しました。横浜駅周辺では、帰宅困難となった多くの方がパシフィコ横浜や横浜アリーナ等に一時避難するなど、不安を抱えながら一夜を過ごされていました。

会員の先生方からは、院内の器具、薬品、備品類の破損、停電や断水等の被害を受けたとの報告も入っています。また、原発事故の影響で１４日から実施されている計画停電、電車の運休等により、日々の診療に支障、混乱を来している様子も報告されています。こうした過酷な状況にあっても、地域医療を支えるために尽力されている先生方のご努力に、改めて敬服しております。

神奈川県保険医協会の事務局は、幸運にも負傷者もなく全員無事でした。しかし事務所の東興ビルには内壁にヒビが入るなど、一部損傷が生じています。また鉄道各線の運休や計画停電等により、この間の研究会等の開催中止や窓口・電話応対等の業務停止を余儀なくされました。会員の皆様には多大なご迷惑をおかけしたことを、心よりお詫び申し上げます。現在、事務所の安全性の確保、正常な業務復旧に全力で努めておりますので、何卒ご容赦のほど、お願い申し上げます。

被災地では今でも懸命な捜索、復旧活動が進められています。避難所生活を余儀なくされている方の中には、肉親の安否も確認できず不安な日々を過ごされていることと思います。また、高齢者や慢性疾患等の患者、インフルエンザ罹患者なども多くおり、一刻も早い医療支援を必要としております。保団連は被災地への激励と薬品等の物資支援を行うため、住江会長が１６日より福島、宮城、岩手の３協会に訪問しているとの報告を受けております。

神奈川県保険医協会としても、微力ながら被災地の方々へ出来る限りの支援をしていきたいと考えております。会員各位におかれましては、よろしくご理解、ご協力のほどお願い申し上げます。

２０１１年3月２２日
神奈川県保険医協会
理事長　　池川　明